

発電所の設置又は変更の工事の事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成 10 年通商産業省令第 54 号）

平成 24 年 7 月 31 日改正（平成 24 年 10 月 1 日施行）

別表第 10（第 9 条関係）

参 考 項 目		参 考 手 法	
環境要素 の区分	影響要因 の区分		
窒素 酸化物	工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	1 調査すべき情報	気象の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		4 調査地点	窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、前号の調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、第三号の調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期
		6 予測の基本的な手法	事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測地点	窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、前号の予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点
		9 予測対象時期等	工事用資材等の搬出入に用いる自動車の運行による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期
	建 設 機 械 の 稼 働	1 調査すべき情報	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		2 調査の基本的な手法	
		3 調査地域	
		4 調査地点	
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測地点	
		9 予測対象時期等	建設機械の稼働による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環境要素 の区分	影響要因 の区分		
粉じん等	工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	1 調査すべき情報	気象の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	粉じん等の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		4 調査地点	粉じん等の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地点
		5 調査期間等	粉じん等の拡散の特性を踏まえ、前号の調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期
		6 予測の基本的な手法	事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測地点	粉じん等の拡散の特性を踏まえ、前号の予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確には青くできる地点
		9 予測対象時期等	工事用資材等の搬出入に用いる自動車の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期
	建 設 機 械 の 稼 働	1 調査すべき情報	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		2 調査の基本的な手法	
		3 調査地域	
		4 調査地点	
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測地点	
		9 予測対象時期等	建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環境要素 の区分	影響要因 の区分		
騒音	工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	1 調査すべき情報	イ 道路交通騒音の状況
		2 調査の基本的な手法	ロ 沿道の状況
		3 調査地域	ハ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況
		4 調査地点	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析。この場合において、前号イの情報については環境基準において定められた道路交通騒音についての測定の方法、測定場所及び測定時刻
		5 調査期間等	音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		6 予測の基本的な手法	音の伝搬理論に基づく計算
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測地点	音の伝搬の特性を踏まえ、前号の予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点
		9 予測対象時期等	工事用資材等の搬出入に用いる自動車の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期
	建 設 機 械 の 稼 働	1 調査すべき情報	イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析。この場合において、前号イの情報については騒音規制法第15条第1項の規定による特定建築作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準において定められた騒音についての測定の方法
		3 調査地域	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		4 調査地点	
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測地点	
		9 予測対象時期等	建設機材の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期
	施 設 の 稼 働	1 調査すべき情報	※「建設機械の稼働」と同じ
		2 調査の基本的な手法	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		3 調査地域	※「建設機械の稼働」と同じ
		4 調査地点	
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測地点	
		9 予測対象時期等	発電所の運転が定常状態となる時期及び騒音に係る環境影響が最大となる時期（最大になる時期を設定することができる場合に限る。）

参 考 項 目		参 考 手 法	
環境要素 の区分	影響要因 の区分		
振動	工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	1 調査すべき情報	交通量に掛かる状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析。
		3 調査地域	工事用資材等の搬出入に使用する自動車が行う予定の路線およびその周辺区域
		4 調査地点	振動の伝搬の特性を踏まえ、前号の調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	振動の伝搬の特性を踏まえ、第三号の調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期
		6 予測の基本的な手法	事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測地点	振動の伝搬の特性を踏まえ、前号の予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点
		9 予測対象時期等	工事用資材等の搬出入に用いる自動車の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期
	建 設 機 械 の 稼 働	1 調査すべき情報	地盤の状況
		2 調査の基本的な手法	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		3 調査地域	振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		4 調査地点	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測地点	
		9 予測対象時期等	建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
水の濁り	建設機械の稼働	1 調査すべき情報	浮遊物質の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析。この場合において、前号の情報については環境基準において定められた浮遊物質量に係る水質の汚濁についての測定の方法
		3 調査地域	浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域
		4 調査地点	浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、前号の調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、第三号の調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期
		6 予測の基本的な手法	事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測地点	浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、前号の予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点
		9 予測対象時期等	建設機械の稼働による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期
	造成等の施工による一時的な影響	1 調査すべき情報	※「建設機械の稼働」と同じ
		2 調査の基本的な手法	
		3 調査地域	
		4 調査地点	
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測地点	
		9 予測対象時期等	造成等の施工による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
有害物質	建設機械の 稼働	1 調査すべき情報	有害物質に係る底質の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	しゅんせつ工事を行う区域
		4 調査地点	前号の調査地域における底質の状況を把握するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	原則として底質の状況を把握するために適切かつ効果的な時期に一回
		6 予測の基本的な手法	有害物質に係る底質の状況を把握した上で、事例の引用又は解
		7 予測地域	有害物質の拡散の特性を踏まえ、建設機械の稼働による有害物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測地点	前号の予測地域における有害物質に係る環境影響を的確に把握できる地点
		9 予測対象時期等	しゅんせつ工事による有害物質に係る環境影響が最大となる時期
重要な地形 及び地質	地形改変及 び施設の存在	1 調査すべき情報	イ地形及び地質の状況 ロ重要な地形及び地質の分布、状態及び特性
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	対象事業実施区域及びその周辺区域
		4 調査地点	地形及び地質の特性を踏まえ、前号の調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	地形及び地質の特性を踏まえ、第三号の調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な時期
		6 予測の基本的な手法	重要な地形及び地質について、分布、成立環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測対象時期等	地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
風車の影	施設の稼働	1 調査すべき情報	イ 土地利用の状況 ロ 地形の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理
		3 調査地域	土地利用の状況及び地形の特性を踏まえ、風車の影に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域
		4 調査地点	土地利用の状況及び地形の特性を踏まえ、前号の調査地域における風車の影に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握することができる時期
		6 予測の基本的な手法	等時間の日影線を描いた日影図の作成
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえ、風車の影に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域
		8 予測地点	土地利用の状況及び地形の特性を踏まえ、前号の予測地域における風車の影に係る環境影響を的確に把握できる地点
		9 予測対象時期等	発電所の運転が定常状態となる時期及び風車の影に係る環境影響が最大になる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
重 要 な 種 及 び 注 目 す べ き 生 息 地 (海 域 に 生 息 す る も の を 除 く。)	造 成 等 の 施 行 に よ る 一 時 的 な 影 響 地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	1 調査すべき情報	イ 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類に関する動物相の状況 ロ 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	対象事業実施区域及びその周辺区域
		4 調査地点	動物の生息の特性を踏まえ、前号の調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点又は経路
		5 調査期間等	動物の生息の特性を踏まえ、第三号の調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯
		6 予測の基本的な手法	重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測対象時期等	動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期
	施 設 の 稼 働	1 調査すべき情報	イ 哺乳類及び鳥類に関する動物相の状況 ロ 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況
		2 調査の基本的な手法	※「造成等の施行による一時的な影響」、「地形改変及び施設が存在」と同じ
		3 調査地域	
		4 調査地点	
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測対象時期等	

※海域に生息する動物（省略）

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
重 要 な 種 及 び 重 要 な 群 落（海域に生 育するもの を除く。）	造成等の施 行による一 時的な影響 地形改変及 び施設の存 在	1 調査すべき情報	イ 種子植物その他主な植物に関する植物 相及び植生の状況 ロ 重要な種及び重要な群落の分布、生育 の状況及び生育環境の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報 の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	対象事業実施区域及びその周辺区域
		4 調査地点	植物の生育及び植生の特性を踏まえ、前号 の調査地域における重要な種及び重要な群 落に係る環境影響を予測し、及び評価する ために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	植物の生育及び植生の特性を踏まえ、第三 号の調査地域における重要な種及び重要な 群落に係る環境影響を予測し、及び評価す るために適切かつ効果的な期間、時期及び 時間帯
		6 予測の基本的な手法	重要な種及び重要な群落について、分布又 は生育環境の改変の程度を把握した上で、 事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、植物の生育及び 植生の特性を踏まえ、重要な種及び重要な 群落に係る環境影響を受けるおそれがある 地域
		8 予測対象時期等	植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要 な種及び重要な群落に係る環境影響を的確 に把握できる時期

※海域に生息する植物（省略）

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
地 域 を 特 徴 づ け る 生 態 系	造成等の施 行による一 時的な影響	1 調査すべき情報	イ 動植物その他の自然環境に係る概況 系時的な影響 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物と の関係又は生息環境若しくは生育環境の 状況
	地形改変及 び施設の存 在	2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報 の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	陸域における対象事業実施区域及びその周 辺区域
	施設の稼働	4 調査地点	動植物その他の自然環境の特性及び注目種 等の特性を踏まえ、前号の調査地域におけ る注目種等に係る環境影響を予測し、及び 評価するために適切かつ効果的な地点又は 経路
		5 調査期間等	動植物その他の自然環境の特性及び注目種 等の特性を踏まえ、第三号の調査地域にお ける注目種等に係る環境影響を予測し、及 び評価するために適切かつ効果的な期間、 時期及び時間帯
		6 予測の基本的な手法	注目種等について、分布、生息又は生育環 境の改変の程度を把握した上で、事例の引 用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、動植物その他の 自然環境の特性及び注目種等の特性を踏ま え、注目種等に係る環境影響を受けるおそ れがある地域
		8 予測対象時期等	動植物その他の自然環境の特性及び注目種 等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影 響を的確に把握できる時期

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
主 要 な 眺 望 点 及 び 景 観 資 源 並 び に 主 要 な 眺 望 景 観	地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	1 調査すべき情報	イ 主要な眺望点 ロ 景観資源の状況 ハ 主要な眺望景観の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	陸域における対象事業実施区域及びその周辺区域
		4 調査地点	調査地域における景観の特性を踏まえ、前号の調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	調査地域における景観の特性を踏まえ、第三号の調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期
		6 予測の基本的な手法	イ 主要な眺望点及び景観資源について、分布の改変の程度を把握し、事例の引用又は解析 ロ 主要な眺望景観について、完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測対象時期等	第三号の調査地域のうち、調査地域における景観の特性を踏まえ、主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
主 要 な 人 と 自 然 と の 触 れ 合 い 活 動 の 場	工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	1 調査すべき情報	イ 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 ロ 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況
		2 調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析
		3 調査地域	工事用資材等の搬出入に使用する自動車の運行が予定される路線及びその周辺区域
		4 調査地点	人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、前号の調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点
		5 調査期間等	人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、第三号の調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯
		6 予測の基本的な手法	主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析
		7 予測地域	第三号の調査地域のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域
		8 予測対象時期等	人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期
	地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	1 調査すべき情報	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		2 調査の基本的な手法	
		3 調査地域	対象事業実施区域及びその周辺区域
		4 調査地点	※「工事用資材等の搬出入」と同じ
		5 調査期間等	
		6 予測の基本的な手法	
		7 予測地域	
		8 予測対象時期等	

参 考 項 目		参 考 手 法	
環 境 要 素 の 区 分	影 響 要 因 の 区 分		
産業廃棄物	造成の施行による一時的な影響	1 予測の基本的な手法	産業廃棄物の種類ごとの排出量の把握
		2 予測地域	対象事業実施区域
		3 予測対象時期等	工事期間
残土	造成の施行による一時的な影響	1 予測の基本的な手法	産業廃棄物の種類ごとの排出量の把握
		2 予測地域	対象事業実施区域
		3 予測対象時期等	工事期間
備考			
1 この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行及び建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。			
2 この表において「重要な地形及び地質」、「重要な種」、「重要な種及び重要な群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要であるものをいう。			
3 この表において「風車の影」とは、影が回転して地上に明暗が生じる現象（シャドーフリッカー）をいう。			
4 この表において「注目すべき生息地」とは、学術上又は希少性の観点から重要であること、地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。			
5 この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している眺望する場所をいう。			
6 この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する景観をいう。			
7 この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。			